

コンビナート語り部の会

●表彰活動の内容

1. 四日市コンビナート夜景クルーズのボランティアガイド
2. エコパートナーとして、シンポジウムの企画・運営
3. そらんぽエコカレッジの企画・運営(バスボムづくり)
4. こども科学セミナーの協力(コンビナート工場見学)
5. こどもフェスティバルの協力(バスボムづくり)
6. 四日市大学環境フォーラムへの参加
7. 小学校高学年を対象とした出前教育講座
8. 地域小学生を対象とした科学実験体験の講師
9. 市の「教育旅行誘致」協議会への参画と支援 等

●活動の内容(詳細)

1. H21～30 四日市コンビナート夜景クルーズガイド
(乗船者 3万人)
2. H24～30 こども科学セミナー支援(教育委員会)
3. H28～30 エコパートナー、そらんぽ支援(環境部)
4. H29～30 こどもフェスティバル参加(まちづくり財団)
5. H30 吉崎海岸エクスカーショ参加、工場見学案内
6. H28 こども体験学習支援(語り部の会主催)
7. H27～29 四日市大学環境フォーラム参加
8. H29 四日市大学環境特殊講座講師

活動期間 H30年10月現在 9年6か月

年間活動回数 約10回

クルーズガイドは年間 約100回以上

活動地域 四日市市

●活動の目的

1. コンビナート企業OBとして、在職中に得た知識や経験、人脈を生かし、四日市石油化学コンビナートのことをみなさんに伝え、理解を頂く
 - * 四日市コンビナートの歴史
 - * 四日市公害の歴史とその後の四日市の変革
 - * 私たちとコンビナート製品の関わり
2. 科学実験を通して、子どもたちに「ものづくり」の楽しさを経験してもらう
3. 四日市コンビナート夜景クルーズで、県外からの多くの観光客を迎え入れ、今の四日市市を体感して頂く
4. 過去の歴史を伝え(環境未来館の紹介)、環境先進都市として活動していることをアピールしていく

●経歴(概要)

「コンビナート語り部の会」の組織は、「四日市公害環境未来館」のエコパートナーとして、市民協働課市民活動団体に登録しています。現在の登録会員は12名、その内実際に諸活動の中心は4名の会員が行っています。約10年余りの活動を通して、多くの方にご理解を頂いてきました。

●今後の予定

四日市は、公害の町として多くの方が認識している。しかし四日市は

- * 歴史ある町 : 東海道53次43番目の宿場町
お伊勢参りの通り道
- * 日本で最初に稼働した石油化学コンビナートの町
- * 多くの地場産を持っている(万古焼、かぶせ茶、そうめん 等)である。

「公害の町四日市から、工場夜景のきれいな町四日市」へ「産業と環境の調和の取れたまち」をアピールしていきたい